

会場	主テーマ	④	
		7/19 (日) 10:10-10:40	7/19 (日) 10:50-11:20
第1会場 (2A303)	教師教育 省察	児童にエンゲージメントが得られる小学校英語の授業作りに向けての研究 —教員養成大学での学生への指導から—	相手を意識することから始まる学び —教員養成における大学生と小学生の交流実践—
		高木浩志	五十嵐浩子・狩野晶子・根本孝女・黒木愛
第2会場 (2A304)	言語活動 話す/発信	小学校外国語教育における言い換え可能性の検討 —影響要因・変容および指導構造に着目して—	「本物」の言語活動の理論的構築に向けて —学習指導要領改訂の議論を踏まえて—
		中垣州代	阿部巧・堀江恒祐
第3会場 (2A309)	フォニックス アルファベット	小学生のアルファベット知識の実態 —文字同定・文字筆記・音素認識課題による検討—	日本語と英語の書字のつまずきの連鎖と支援 —学年縦断的・教科横断的な分析を通して—
		物井尚子・折原俊一・橋口奈央子	村尾亮子・大谷みどり
第4会場 (2A409)	小中接続 読み書き	児童の自己効力感を高める小中接続を目指した読み書きの基礎づくり —多感覚を用いたジョリーフォニックスの実践—	児童全員が「できる」ようになる新しい小学校英語 —科学的知見をカリキュラムと指導に取り入れた 和歌山県高野町モデル—
		山下桂世子・小島智子・田村公子	河合千尋・山下桂世子
第5会場 (2A410)	評価 Can-Do	デジタル(情報活用能力)Can-Do 評価尺度試案の作成と活用 —2つの小学校英語授業実践を通して—	小学校外国語科における「聞くこと」の「知識・技能」に関する アウトカム指標の改良 —5年生と6年生の違いは見られるか—
		泉恵美子・長沼君主・楠井理恵・大江太津志	田端陽一・内野駿介・小木曾智子・酒井英樹・長沼君主 野澤邦広・工藤洋路
第6会場 (3A203)	音声 音韻 聞くこと	復唱課題が音声指導において果たす役割の検討 —公立小学校5・6年生の発話の音響分析を通して—	高学年児童のリスニング能力発達プロセスの解明 —2年間にわたる児童のディクテーション回答分析を通して—
		近藤蓮太	名瀬浩司
第7会場 (3A207)	ICT AI活用	オンライン国際交流を支援するAI・ALTの開発と検証 —RAGを実装したAIの開発とLLMによるSentiment Analysisによる 分析—	生成AIを活用したプロジェクト学習の実践 —帯活動として実施した生成AIキャラクター制作プロジェクト—
		金子淳・サコラウスキーゼー・井上大	芝葉莉花
第8会場 (3A209)	指導者 ALT/専科	小学校外国語担当教員のための「教師英語」のトレーニング —教師によるスモール・トークとチーム・ティーチングの 打ち合わせを例に—	専科教員として取り組む小学校英語教育 —学級担任やALTとともに—
		池野修	梶本朋子
第9会場 (3A212)	国際交流 政策 成果	小中接続期における教師と学習者の発話機能比較 —同一学習者の英語授業を対象として—	中学校英語スコア低下はなぜ生じたのか？ —小中接続の観点から「経年変化分析調査」結果の考察—
		村田琴美・志村昭輔	斉田智里・関口友子
第10会場 (3A213)	CLIL 教科横断/海外	教科横断的な英語の授業での絵本の活用 —担任・英語専科・理科専科が選ぶ「科学絵本」—	外国籍プロスポーツ地域人材を活用した小学校体育における Hard CLIL 実践の効果とその可能性 —体育と英語の技能面と情意面の伸長に焦点をあてた比較検証—
		相田眞喜子・永井雅子	齋本哲弘
第11会場 (3A306)	学習者 特別支援	外国語学習の理論をいかす他教科・領域の学び —「インテイク」に着目した児童の表現力育成の試み—	情報活用能力の萌芽を外国語活動の視点で探る —特別支援学級での実践から—
		大根史之・辻章・田山享子	大江太津志
第12会場 (3A308)	書くこと 文構造	文構造への気づきを促す指導実践例の収集と整理	英語の語順を日本語と対比して明示的に指導する効果 —外国語科と国語科のCLIL 授業の可能性—
		来住野実咲・平山伸正・石毛隆史・中田葉月・内野駿介 小竹空真・岩毛俊紀・高橋あさ美	渡部靖徳・二五義博
第13会場 (3A312)	読むこと 教材 語彙	児童の主体性を育む校内レシテーションコンテストの実践研究 —「自分が選ぶ」絵本の読み聞かせを通して—	小学生の英語語彙力および読解不安と学校外要因の関係 —構造方程式モデリングによる検討—
		阿部嗣枝・佐藤剛	清水運・星野由子